

Q 乳がんは早期発見すれば
治りますか？

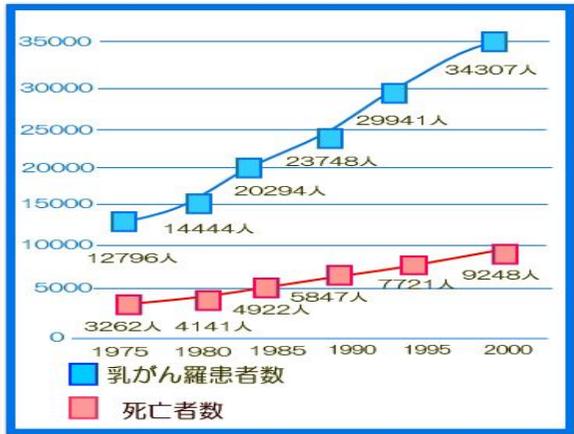
A 早期なら90%が治癒します。
早期発見のために
定期検診が必要なのです。

乳がんは、女性のがん死亡原因のトップ

今、日本女性の30人に1人が乳がんにかかるといわれています。
なくなる方は年々増加し、今では約1万人。
女性の壮年層（30歳～64歳）の
がん死亡原因のトップとなっています。

早期発見・治療すれば”治るがん”

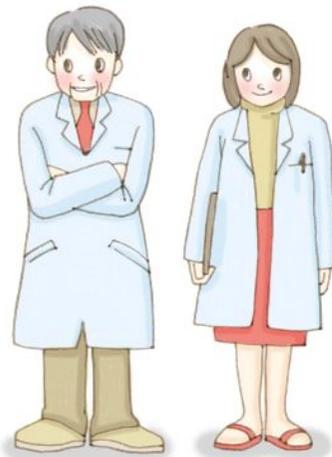
残念ながら乳がん予防方法はありませんが
早期なら約90%の方が治ります。
決して怖い病気ではありません。
早期発見のために、自己検診や、マンモグラフィなどによる定期検診が大切なのです。



乳がんの 早期 発見のために

マンモグラフィ
を受けましょう！

検査は乳腺外来
外科で受けられます



京都南病院

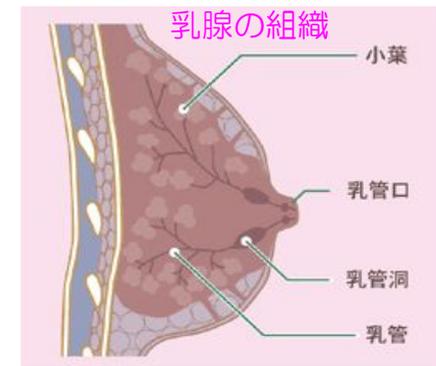
★お問い合わせは当院”放射線科”までお願いいたします
tel 075-312-7361 (代)

Q 乳がんってどんな病気？

A 乳房にある乳腺に発生
する悪性腫瘍です

乳がんの症状はさまざま

乳がんは、乳房にある乳腺（母乳をつくる
ところ）に発生する悪性腫瘍です。
症状は、しこり、血性乳頭分泌、乳首の陥没、
皮膚のしこりなど、実にさまざまです。



初期には、全身の症状がないため
放置されやすいのです。

細胞ががん化して増えはじめるとしこり
になりますが、初期には食欲がへったり
体調が悪くなるなどの全身症状がほとんど
ありません。

唯一の乳房の変化に気づかずにそのまま
放置しておく、乳腺の外にまでがん細胞
が増殖し、血管やリンパ管を通して、全身
へと広がっていきます。

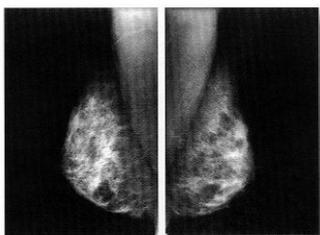
Q マンモグラフィって、なに？

A 早期の乳がんも発見できる
乳房専用のX線撮影のことです

乳房はやわらかい組織でできているため専用のX線撮影装置を使用します。乳がんをはじめ乳房にできる病気をほとんど見つけることができ、しこりとして触れないごく早期の乳がんも発見できます。



マンモグラフィ装置



マンモグラフィ画像

撮影にかかる時間は20分程度

通常検査では、立体的な乳房全体がもれなく写し出されるように一方の乳房に2方向の撮影を行います。撮影は更衣から撮影終了フィルム確認まで含めて約15分から20分程度です。

欧米では一般的な検査方法

マンモグラフィによる検診は、アメリカ、ヨーロッパでは最も一般的で、安全性が確立されていますし乳がんによる死亡を減少させる効果が得られています。

Q 放射線の被曝による危険性は？

A X線を使いますが、その量はごくわずかで、ほとんど危険はありません

放射線の害より 早期発見のメリットの方が大きい

X線検査なので放射線被曝がありますが乳房だけの部分的なもので骨髄などへの影響は無く白血病などの発生の危険はありません。

1回の撮影で受ける放射線の量は東京からニューヨークへ飛行機で行くときに浴びる自然放射線(宇宙線)とほぼ同じ量。

マンモグラフィ撮影による危険性は、ほとんどないと思っていいでしょう。

ただし、妊娠中の方はご注意ください

妊娠中の方、妊娠の可能性のある方はお申し出ください。

放射線感受性の高い胎児への被曝を最小限にするために、検査方法などを検討させていただくことがあります。

京都南病院では「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」の認定を受けた撮影技師と読影医が検査を担当させていただきます。検査で気になることは遠慮なく医師又は撮影技師にお尋ねください。

Q 検査は”痛い”と聞きますが本当ですか？

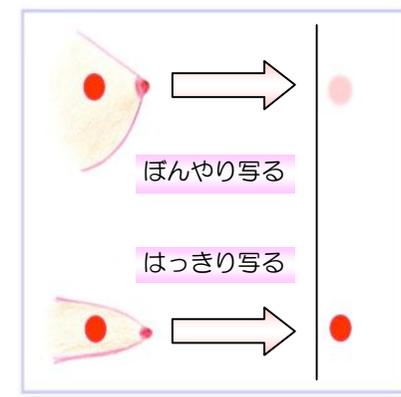
A 立体的な乳房を正しく撮影するために圧迫する必要があります

圧迫することで放射線も少なくなります

マンモグラフィ撮影では乳房を圧迫板ではさみます。これは、診断に必要な良い写真を撮るためには、とても重要なのです。乳房は立体的で厚みもあり、そのまま撮影すると乳腺や脂肪、血管などの重なりで、実際に腫瘍があっても写し出されないことがあります。また圧迫により、放射線の被曝量を少なくする効果もあります。

正しい撮影をするために、撮影技師がポジショニング(撮影機械に乳房をはさんで圧迫し体位をとる)を行いますので、どうぞご協力をお願いします。

また、圧迫板は一定以上の圧力はかけられないように設定されていますので、ご安心ください。ただし、痛みが強い方、皮膚や乳房に炎症や外傷があり圧迫できない方は中止することがあります。



乳房を薄くひきのばすことで、少ない放射線で、しこりの影がはっきり写ります。